

# のり海況速報 第1報 (23-1)

平成23年9月29日発行  
千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所  
千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 9/26：内湾(わかふさ)、9/27：内房北部(わかふさ)  
関東・東海海況速報(9/28)、東京湾口海況図(9/28)  
モニタリングポスト(9/26：国土交通省関東地方整備局)  
千葉県環境研究センター、神奈川県水産技術センター(9/27)

今年度も当センターで実施する調査結果をとりまとめ、「のり海況速報」として提供いたしますので、ご活用願います。

## 【水温・塩分の状況】

先週半ばまで26～28℃台と高水温であった表層水温(図1, 2)は今週になって急激に低下し、全域でほぼ22～23℃台になっています。

塩分は21日夕から夜半にかけて通過した台風15号に伴う大雨(木更津：174.5mm, 横浜：162mm)によってほぼ内湾全域で28以下で、西側ではかなりの低塩分状態になっています。

一方、黒潮は今週あたりから大きく変動しており、28日現在遠州灘沖の冷水塊(水温：20～21℃台)を迂回するパターンで、房総半島南東岸を接岸しながら北東方向に流れています。

このため、その反流と思われる暖水(水温；25℃台)が大島付近から相模灘へ向かって波及していますが、今のところ東京湾口への流入は少ないものと思われます。

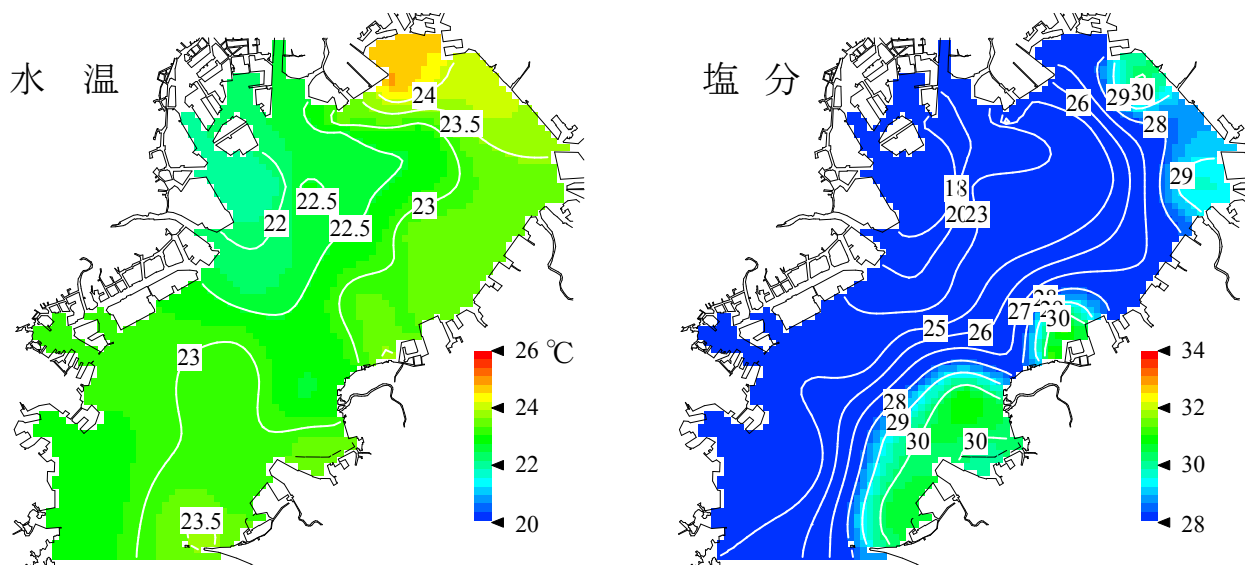


図1 表層の水温・塩分分布 (内湾：平成23年9月26日)

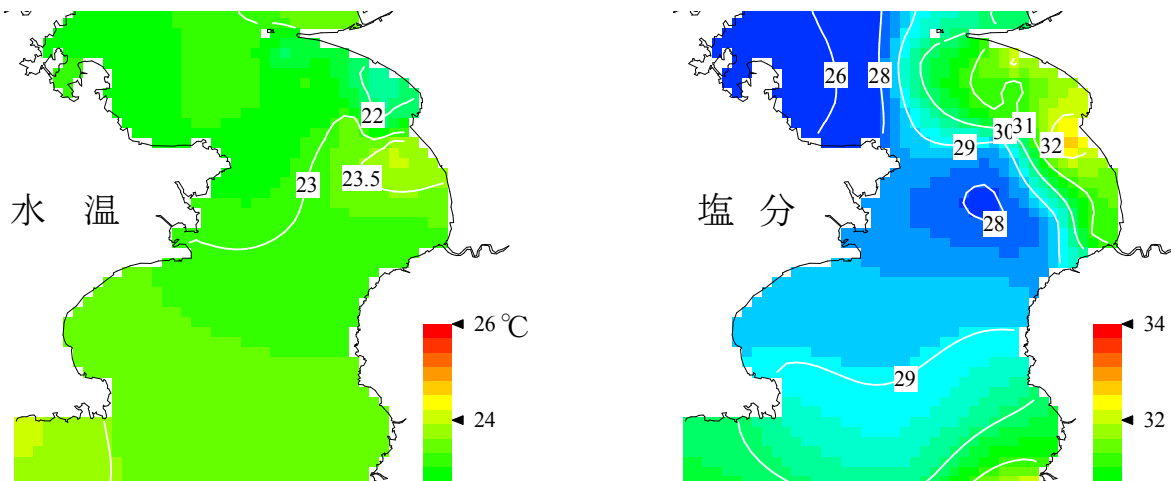


図2 表層の水温・塩分分布 (内房北部海域：平成23年9月27日)

### 【赤潮・栄養塩の状況】

赤潮は内湾および内房北部海域とも発生していません。プランクトンも少なくなっており、ケイ藻のタラシオシラ・タラシオネマがみられる程度でした。

表層の栄養塩(図3, 4)は窒素(DIN)・リン(DIP)とも全域で十分あり、ノリ養殖にとって問題ありません。

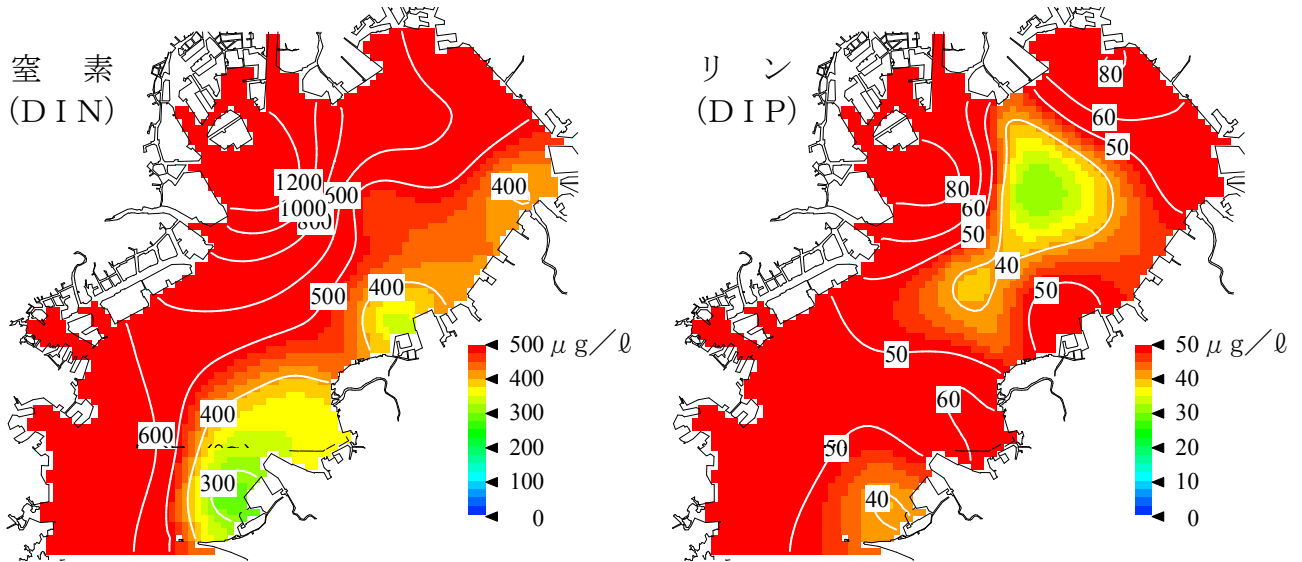


図3 表層の栄養塩濃度の分布 (内湾：平成23年9月26日)

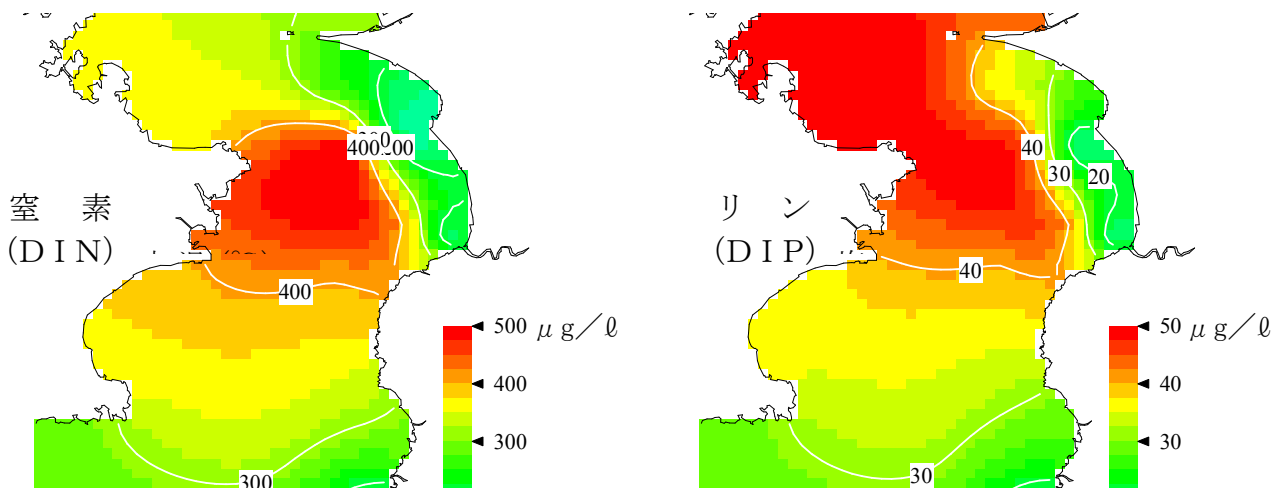


図4 表層の栄養塩濃度の分布 (内房北部海域：平成23年9月27日)

#### 川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：[http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main\\_frame.html](http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html)

携帯：[http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile\\_forecast.html](http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html)